

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月28日

計画の名称	広陵町における普及促進及び改築更新（防災・安全）（第2次）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	広陵町													
計画の目標	広陵町において快適で活力ある暮らしのために、策定した長寿命化計画をもとに対策を行い事業継続性の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		91	A	91	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	長寿命化対策が必要となる下水道施設の健全性を0%から100%に向上させる。 長寿命化対策が必要となる下水道施設の健全度 長寿命化対策実施済数（本） / 長寿命化対策実施すべき数（本）	0%	100%	100%
2	ストックマネジメント改築実施計画に基づく下水道施設の健全度を0%から5%に向上させる。 ストックマネジメント改築実施計画に基づく下水道施設の健全度 改築を実施した延長（m） / 改築を必要とする管渠延長（m）	0%	0%	5%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 当該事業担当課において実施	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 ホームページで公表予定
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	劣化の著しい管路施設を長寿命化計画に基づく改築更新を実施することで事業継続性が確保出来ている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	長寿命化計画による老朽管路の更新により、管路施設の劣化や損傷による事故を未然に防止出来ている。
特記事項（今後の方針等）	
布設から一定期間経過している管路の調査により、劣化状況を把握し、更新を要する場合は適時改築を実施していくことで事業継続性の確保を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	対策を実施すべき管路のうち対策を実施した管路割合	
	最終目標値	100%
2	対策を実施すべき管路のうち対策を実施した管路割合	
	最終目標値	5%
	平成29年度に策定したストックマネジメント基本計画により、今回の事業計画にて実施するのはストックマネジメント修繕改築計画の策定までとなったため。	
	最終実績値	0%

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全社会資本整備交付金)

計画の名称	広陵町における普及促進及び改築更新 (防災・安全) (第2次)		
計画の期間	平成28年度～平成32年度 (5年間)	交付対象	広陵町

